

2017年6月29日

株式会社ボイジャー

Romancer デジタル時代の出版ツール 7月1日で3年を経過・新企画 連載はじまる

それは「ない」からはじまった 阿久悠と歌謡曲の時代

株式会社ボイジャー（本社：東京都渋谷区、代表取締役：鎌田純子、以下：ボイジャー）が開発した、Romancer（ロマンサー）出版ツールは、2017年7月1日に3年を経過します。デジタル出版時代に突入するこの状況の中で、新たな出版にチャレンジする意欲的な試みをRomancerは精一杯支援してきました。本日現在、会員は4,000人、ここで製作されたデジタル出版は20,000点を超えました。

時代を生きた私たちの言葉は、日本人の財産として人々に共有されていかねばなりません。Romancerには、池澤夏樹、片岡義男、栗本薫（中島梓）という著名な作家の方々の作品参加もいただき、大学教授やさまざまな分野のエキスパートからも制作への意欲を注いでいただきました。この傾向をさらに力強く世の中に訴えていくために、ボイジャーはデジタル発の企画を投入いたします。Romancer 3周年の7月1日から、連載の形をとり、当面100回を予定します。

題して、それは「ない」からはじまった——『阿久悠と歌謡曲の時代』

<https://romancer.voyager.co.jp/cafe>（※7月1日よりオープン）

執筆を担当するのは、佐藤 剛です。（*別紙作者紹介をご参照）

デジタル出版は技術的な知識を要求します。多くの方がデジタル出版の入口で立ち止まります。そのために、容易なもの、思いつき、短い言葉、感情おもむくままネット上に言葉が流れる傾向が風俗のように定着していきました。困難な時代を生き、数々の誇るべき業績を残してきた戦後日本の経験と教訓は、ごく限られた形でしか出版へと繋がりませんでした。本来の主役である前線に生きてきた人々の証言は必ずしも残されたとは言い難いです。これら取り残された数多くの出版に向かい合う手段としてデジタルがあるとボイジャーは位置付けてまいりました。Romancerはその一つの試みでした。

デジタル出版は漫画を中心にここへきて急速に成長し、大手出版社の続いてきたマイナス成長を逆転させる役割を果たしました。これによって、もう誰もデジタル出版の将来を疑う人はいなくなりました。

この時にこそボイジャーは、25年前に飛び込んでいったデジタル出版のことを思い起こします。何もない地平からトライした時代の飢餓感を、そして何の希望を私たちはデジタル出版に見ようとしてきたのかを、豊かな時代になりながら、心の欠乏を感じてきた心情を掬いとりとする小さなメディアの反抗を。

“それは「ない」からはじまった”という、作詞家・阿久悠の仕事を振り返りたいとおもいます。デジタル出版からスタートしていくであろう多くの新しい“作家”のみなさんへ、Romancerからの連載が勇気を与える力となることを期待しています。

株式会社ボイジャーについて

代表取締役：鎌田純子

ホームページ：<https://www.voyager.co.jp>

1992年米国ボイジャーとの合弁で創業。エキスパンドブック、T-Time、dotBook、dotPressの開発元。2006年セルシスと共同で携帯電話向けBookSurfingソリューション（現・BSソリューション）の提供を開始。2007年コミック・雑誌などの配信ソリューションとしてWebブラウザ用プラグインT-Time Crochetを開発。2011年HTML5ベースのブラウザでの閲覧システムBinB（Books in Browsers）を開発。本ソリューションは、講談社、集英社、幻冬舎、SBクリエイティブ、ヤフー、NTTソルマーレ、BookLiveなどが採用している。また2010年からEPUB 3日本語ベーシック基準（日・英）を公開。EPUB日本語基準研究グループ（EPUBJP）を推進する。AMD（デジタルメディア協会）会員、またW3C（the World Wide Web Consortium）会員。

※ 商標について

T-Time、.BOOK／ドットブック、Crochet／クロッシェ、BinB、Romancer、Power Thumbは、株式会社ボイジャーの登録商標です。会社名または製品名は、各社の商標または登録商標です。

報道関係お問い合わせ先

株式会社ボイジャー デジタルメディア事業部 柳尾知宏、萩野正昭

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前5-41-14

電話: 03-5467-7070 / FAX: 03-5467-7080

Email : yagio@voyager.co.jp, hagino@voyager.co.jp



デジタル出版をめざす全てのみなさまにお届けします
7月1日（土）から連載がはじまります

阿久悠と歌謡曲の時代

たかが音楽、歌謡曲……そう思われるかもしれませんが
けれど、見れば見るほど、言葉には時代を写す心が宿っていました
知らずに通り過ぎてきた 何もわからずにいた
そこに佇^{たたず}み、また明日を歩きはじめよう

- 1967年 「朝まで待てない」 モップス（作・編曲：村井邦彦）
- 1970年 「天使になれない」 和田アキ子（作曲：都倉俊一 編曲：馬飼野俊一）
- 1970年 「ざんげの値打ちもない」 北原ミレイ（作曲：村井邦彦 編曲：馬飼野俊一）
- 1971年 「女はそれをがまんできない」 大信田礼子（作曲：親泊正昇 編曲：森岡賢一郎）
- 1972年 「友達よ泣くんじじゃない」 森田健作（作・編曲：鈴木邦彦）
- 1972年 「どうにもとまらない」 山本リンダ（作・編曲：都倉俊一）
- 1973年 「愛さずにはいられない」 野口五郎（作・編曲：馬飼野俊一）
- 1977年 「さよならをいう気もない」 沢田研二（作曲：大野克夫 編曲：船山基紀）
- 1978年 「狼なんか怖くない」 石野真子（作曲：吉田拓郎 編曲：鈴木茂）



著者紹介：佐藤 剛（さとう・ごう）

1952年、岩手県生まれ。甲斐バンドのプロダクション「ビートニク」代表、音楽制作会社「ファイブ・ディー」代表を経て、THE BOOMを筆頭に数々のアーティストをプロデュース。由紀さおりのアルバム『1969』でシニア・プロデューサー他。著書に『上を向いて歩こう』（岩波書店）、『「黄昏のビギン」の物語：奇跡のジャパニーズ・スタンダードはいかにして生まれたか』（小学館）、『美輪明宏と「ヨイトマケの唄」 天才たちはいかにして出会ったのか』（文藝春秋）などがある。